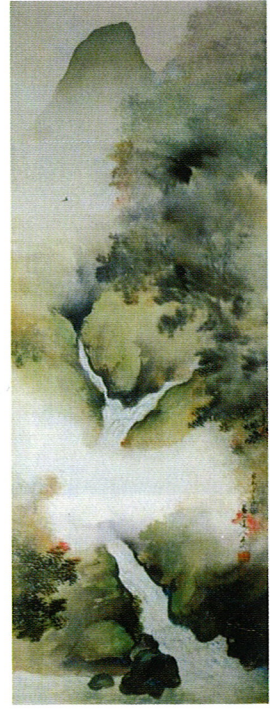


# 友の会 会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501  
青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94  
七戸町立鷹山宇一記念美術館内  
鷹山宇一記念美術館友の会

〈TEL〉0176-62-5858 〈FAX〉0176-62-5860  
〈e-mail〉takayamamuseum@ruby.plala.or.jp



■鷹山宇一と七戸ゆかりの画家たち～鳥谷幡山・平野四郎・上泉華陽～■

作品画像右から鳥谷幡山「奥入瀬溪流」、鷹山宇一「顔II」(中央上)、平野四郎「雪原風景(仮題)」(中央下)、上泉華陽「馬百態(仮題)」(左)

## 「鷹山宇一と七戸ゆかりの画家たち」 ～鳥谷幡山・平野四郎・上泉華陽～

鷹山宇一記念美術館もこの8月1日で、開館15周年を迎えます。何も分らず右往左往、手探りの日々を過ごした当時が懐かしく思い出され、また、15年経っても未熟者のまま、相も変わらずこの館で仕事をさせていたたいに深い感慨を覚えながら、今日も淡々と、誠実な仕事を心がけて、精進しようと思っております。

さて、開設当初から当館には、4人の収集作家が在ることを、昨年の会報52号でも少しご紹介させていただきました。鷹山宇一をはじめとする、七戸町出身、ゆかりの画家、鳥谷幡山、平野四郎、上泉華陽がその4人なのですが、なかなか普段にご紹介できないうえ、失礼をしています。本年、開館15周年を迎えるにあたり、あらためて、一堂に展覧することといたしました。振り返れば、開館時、初の展覧会がやはりこの収集作家展でありました。懐かしい……。そこで、この紙面をお借りして、本展で紹介する収集作家について、ほんの一端ですがご紹介をさせていただきます。

寺崎広業門下で中央画壇でも活躍をした日本画家・鳥谷幡山(とや・ばんざん、1876～1966年)は、十和田湖が今日のように世の中に知れ渡る以前に、その神秘的な美しさに魅せられ、以降、作品の題材に取り上げるなど、自ら「神苑霊湖」と称した十和田湖の紹介につとめました。

平野四郎(ひらの・しろう、1904～1983年)は、教職につきながら絵の道を歩み、パステル、水彩、油彩により、特に風景を主題に多くの作品を残した洋画家です。晩年は油彩による独自の幻想リアリズムを追求。今展では、ご家族の特段のご高配を賜り、さいたま市のご自宅から、七戸町ゆかりの作品を拝借し展示しています。

山形県米沢市に生まれ、幼い頃より「馬」に魅せられた上泉華陽(かみいずみ・かよう、1892～1979年)は、画題と名を成馬の姿を求めて全国を行脚、古くから良馬の産地として名を成した七戸町に腰を据え、墨、油彩を駆使して「馬」を描き続けました。地方にありながら絵筆一本で生き、晩年は、今や見事なつつじの山として当町が誇る名所となった天王神社の、つつじの植栽に尽力をしました。

当館所有、そして、寄託を受けた作品を主軸に、本展初公開となる借用作品を加えた「収集作家」展です。7月20日迄開催しております。この機会に是非ご鑑賞ください。

(学芸員 大池豊希子)

# 鷹山宇一記念美術館友の会 平成21年度通常総会開催



平成21年度通常総会

鷹山宇一記念美術館友の会平成21年度通常総会が平成21年6月20日午後2時から開催。平成20年度事業報告書・収支決算書及び平成21年度事業計画書(案)・収支予算書(案)の承認議案を始めとするすべての議案が原案どおり可決され、本年度の事業体制が整いました。  
なお、総会資料を別添のとおり同封致します。  
本年度も、友の会会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 美術講演会を開催

### 「棟方志功と詩歌」

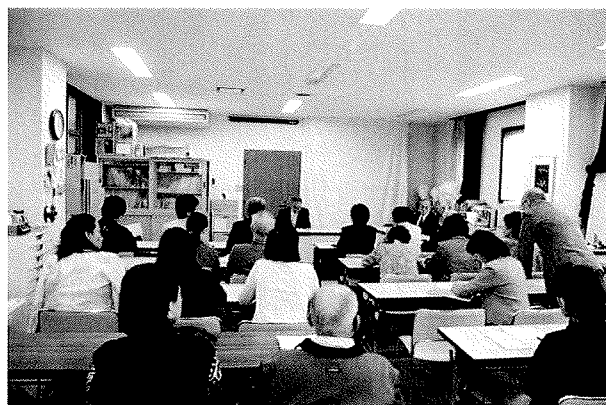
講師 財団法人棟方志功記念館 館長補佐 武田公平氏

友の会総会終了後に開催した美術講演会は、棟方志功記念館館長補佐・武田公平氏をお迎えして「棟方志功と詩歌」と題する講演をしていただきました。  
武田氏は、志功が小学校の頃は風絵に興味を持ち、級友に描いてあげて喜ばれていたこと、四年生のころ当時ではめずらしい飛行機を追いかけて行く途中につまづいて転んだときに目の前にあったオモタカの花を見て「花の美しさを表せるような人間になりたい」と思ったことが画家を志すきっかけとなったこと、また、「ワだば、ゴッホになる！」という言葉は、文芸誌「白樺」に載った「ゴッホの「ひまわり」と出会ったときの言葉だったこと、版画の道に本格的に入ったのは油絵で帝展入選という故郷との約束を果たしてからだったことなど、志功の生い立ちと人となりを簡明に解説してくれました。  
また、絵を描くためには詩歌や文学作品を読み精神を高めなければならぬと考えた志功は「おじないの仲間と文学作品の朗読を行っていたことなどを紹介し、母校である長島小学校創立100周年記念に贈った「汝我志摩(ながし

ま)」という言葉と

○ 立山の北壁削る時雨かな  
○ 一人の雪に名山かくれけり  
○ そよ風にそよとし吹かれ野菊かな  
(紹介いただいた16句から3句を掲載)

という俳句を紹介していただきました。



講演中の武田公平氏

## 棟方志功記念館 利用案内

### 開館時間

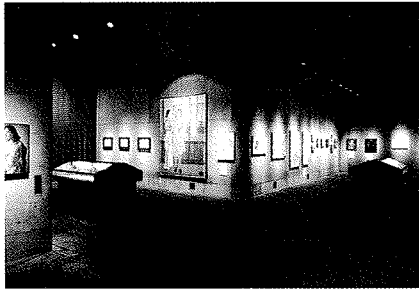
9:30~17:00(ねぶた期間  
の8/2~8/7は午前9時開館)

### 休館日

毎週月曜日(祝日及びねぶ  
た期間の8/2~8/7は除く)  
年末(12月25日~31日)

観覧料 一般500円

電話 017-777-4567



▲十字型の「無言館」展示室内。静寂の中で、皆、真摯に、作品と画学生たちの生き様に対峙しています。

# 鷹山宇一記念美術館 News & Report

2009年6月21日発行

鷹山宇一記念美術館開館15周年記念  
**戦没画学生慰霊美術館**  
**「無言館」収蔵作品による**  
**祈りの絵画展**  
 あなたに、伝えたい、絵があります

7月26日(日)→9月6日(日) 会期中は無休

いつの日か、当美術館では是非開催したいと切に願いつけてきました「無言館」展が、この夏、東奥日報社との共催により、いよいよ実現されることとなりました。

数多くの尊い(生命)が失われた太平洋戦争。戦地に駆り出された方々の中には、生きて還って再び絵を描きたい、そう願いながらも戦場のツコと消えた、若き画学生たちがいました。

氏の積年の想いをもとに、これに賛同した「信濃テッサン館」館主で作家の窪島誠一郎氏が、全国3,000余名にもおよび協力者の芳志のもと、平成9年、その分館として開館しました。「無言館」には、遺族の方々が大切に守り続けてきた、絵を志し生たちの作品と遺品が収められ、彼らの(生きた証)を今に伝えていきます。

父・母、妻、愛する家族たち、慣れ親しんだ山、河、街並み、故郷の風景：描かれたものたちは何気ない日常の光景ばかりです。しかし、彼らが描いたひとつひとつ、すべてが、

## 「無言館展」記念事業開催

- Part1 (講演会)  
 日時 7月25日(土) 18:30~  
 会場 七戸町・柏葉館  
 講師 窪島誠一郎氏(無言館主)  
 演題 「無言館」のこと  
 料金 無料  
 定員 300名
- Part2 (対談)  
 日時 8月23日(日) 18:30~  
 会場 鷹山宇一記念美術館  
 講師 窪島誠一郎氏(無言館主)  
 岡山ひばり氏(青森県立美術館長)  
 演題 画家と戦争(仮題)  
 料金 美術館入館料が必要です  
 定員 150名
- \*いずれも申込が必要です\*  
 美術館迄(TEL0176-62-5858)

## 「無言館」-祈りの絵画-展 Information

7月26日(日)→9月6日(日)  
 会期中は無休  
 入館時間/10:00→17:30  
 (閉館18:00。但し8/23は16:00閉館)

■入館料■  
 一般850(650)円/学生300(240)円  
 高校生以下は無料

※幼児・小学生のお子様は大人の同伴が必要です  
 ※75歳以上の方、障がいをお持ちの方は上記料金を半額割引させていただきます。証明のできる手帳等をご提示ください

※( )内は前売20名様以上の団体、県民カルッジ受講者、JAF会員割引料金

※前売券は美術館窓口、サカサカ川内各店、ネット上で、7/25迄お求めいただけます  
 ※友の会会員の皆様は特典とおりに入館いただけます

■展示替え休館■  
 7/21(火)→25(土)・9/7(月)→11(金)



▲千葉四郎さん「母の坐像」  
 大正2年11月20日、青森県弘前市の造り酒屋に生まれる。昭和8年4月東京美術学校図科入学。13年3月卒業後、改造社、日本映画社などにつとめ、陶芸、彫刻にも才能を伸ばした。19年7月21日青森第五連隊に入營。満州(中国東北地方)林口にて終戦を迎えたが、延吉へ移動後、消息を絶った。戦死公報によれば、享年は31歳。

▼荒関芳一さん「女性群像」  
 五所川原市出身。東京美術学校在学中の作品と思われる。

掛け替えのない大切なものとして燦然たる輝きを放っていることを見逃すことはできないでしょう。生と死が交錯する不穏の時代、避けられぬ非情な現実を前に、純粹に、ただただ一途に「絵を描きたい」というほどばしる情熱が表された作品たちは、私達の心を激しく揺さぶります。そこには、技術の巧拙を超えた、芸術の原点を見る思いがします。

本展は、「無言館」に収蔵された数多くの遺作や遺品から、その一端を紹介するものです。

戦後、64年の歳月が過ぎ行きました。戦争のない戦争を知らない私たちの

今の暮らしは、物質的に恵まれてはいるものの、どこか、混沌とした時代のただ中に浮遊しているように思えてなりません。そのような今日において、戦時下の限られた時間を「絵を描くこと」に真摯に生きた若者たち、その(生の証)を前に、私たちは立ち止まり、今一度、考えなければなりません。そして、今を生きる「自分」に眼をそらすことなく、真摯に対峙していただけたならば、切に願う開催いたします。

特に、今まさに、青春の時代を謳歌している若い世代の皆さんには、是非とも足をお運びいただきたい展覧会です。今展では、高校生以下は入館料を無料といたしました。是非ご家族で、「こ来館」ください。





▲テープカットをして開幕を祝いました。左から、鷹山増子当館名誉館長、成川美術館館主・成川實様、七戸町長・小又勉様、七戸町議会議長・田中正樹様、青森放送株式会社取締役八戸支社長・斎藤幸彦様、青山浄晃当財団理事長

【4月25日(土)】  
開催式「テープカットセレブションパーティー」

箱根・芦ノ湖 成川美術館コレクション

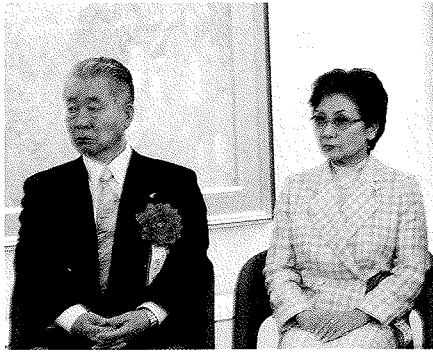
～日本のこころ～

Sakura桜♥富士山Fujiyama展

■□■ Report ■□■

青森放送株式会社との共催による本展も、6/14(日)、50日間の会期を無事終了し、県内外から13,082人ものお客様に桜と富士の多彩な表現をお楽しみいただきました。

▶ 開催式には、65点もの貴重な作品を快くお貸し出しくださいました「箱根・芦ノ湖成川美術館」館主・成川實様、己津子様ご夫妻(写真左)のご臨席を賜り、ご多用のところ遠路お出掛けいただきました。誠に有り難うございました。



【6月7日(日)】

「茶道裏千家七戸会」のご協力のもとお呈茶を開催



◀ 当館恒例の「茶道裏千家七戸会」による御抹茶と御菓子のサービスを行いました。このひとときを楽しみにご来館くださった美術ファンも多く、本年も、「桜富士山展」をご鑑賞のお客様へ、ホッと一息、心も潤う素晴らしい時間を提供いただきました。ご協力、有り難うございました。

\*50日間という長丁場の展覧会でしたが、看視ボランティアをはじめ、多くの方々のご協力を賜り、「桜♥富士山展」を無事終了することができました。お力添えを賜りました皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。本当に有り難うございました!

▼5千人目となったのは、十和田市からご夫婦で来館された杉山佳子様、当財団理事長・青山より記念の花束と本展図録を贈呈いたしました。杉山様は特に桜が大好きで、青森放送のテレビCMで本展開催を知り、とても楽しみにしてお出掛けになられたとのこと。



【5月12日(火)】  
「桜♥富士山展」入館者5千人を達成



▲見頃を迎えた天王神社の「つつじ」観光をメインに、七戸町の見所を広く紹介している、町・商工会女性部主催のツアーが本年も開催され多くの参加者で賑わいました。ツアーの出発場所となった当館では、桜と富士の華麗な日本画をお楽しみいただきました。

【5月17日(日)】  
七戸町商工会女性部主催「七戸つつじまつり観光ツアー」59名様ご乗船



▲1万人目となった八戸市の松倉東祐様・恵子様ご夫妻。当館の特別展を毎回楽しみに、H16年の「さくら桜展」も、H17年の「美人画展」もお出掛けくださったそうです。特に東祐様が美術館や博物館がお好きで、方々お出掛けになられているそうです。

【6月5日(金)】  
「桜♥富士山展」入館者1万人を達成



# ● 美術館日誌 ●

## 【7月】

- ▼3日/県南新聞戸館館長を取材
- ▼4日/戸館館長青森市出張新公益法人制度について打合せ。佐伯青森出張(県民のための美術館づくり懇談会出席)。美術館電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼6日/美術館HP製作打合せ(Jサポート)
- ▼7日/七彩会油絵教室開催
- ▼8日/美術館ワークショップ「青い森鉄道口ゴマーク&イメーজキャラクターを考えよう」①開催(講師/青い森鉄道竹内様・RABサービス八戸支店松井様)
- ▼11日/美術館公用車納車青森スバル
- ▼12日/坪青森市出張、JAF会議へ出席
- ▼15日/美術館ワークショップ「青い森鉄道口ゴマーク&イメージキャラクターを考えよう」①開催
- ▼18日/結のまちレディースセミナー様美術館ワークショップを体験
- ▼27日/「桜・富士山展」ポスター・東印刷物納品、発送作業開始
- ▼28日/当財団理事会、評議員会、役員懇親会を開催(役員改選、H21年度事業計画・収支予算案等)。友の会会報54号納品
- ▼29日/友の会会報54号発送作業

## 【4月】

- ▼5日/友の会海外研修「台湾旅行」説明会開催

- ▼6日/戸館館長、大池青森市出張(東奥日報本社、無言館展打合せ)
- ▼7日/佐伯東北新幹線開業実行委員会観光振興部会に出席(七戸庁舎)
- ▼9日/戸館館長就任挨拶(まわり)十和田市、おいらせ町、八戸市関係各位へ、大池同行)。美術館電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼10日/戸館館長、大池青森市出張(鷹山賞児童作品展協賛依頼、無言館展後援依頼、青森県立美術館、静物画の秘密展開催式出席)
- ▼11日/七彩会油絵教室開催。青森北彩紀行取材のため、やぎはしスタジオ今井様来館
- ▼15日/戸館館長就任挨拶(まわり)三沢市関係各位へ、坪同行)
- ▼16日/当財団監査会(H20年度所蔵作品)。戸館館長青森市出張(青森放送株式会社本社、坪同行)
- ▼18日/友の会H20年度監査会
- ▼19日/七彩会油絵教室開催
- ▼21日/展示替えのため臨時休館(25日迄)
- ▼22日/スペイン民芸資料館タイトルカーペット張替工事(斎下産業)
- ▼23日/「桜・富士山展」作品搬入・展示作業(24日迄)。青森放送株「桜・富士山展」を取材
- ▼24日/成川美術館館主・成川寛様・己津子様夫妻「来館
- ▼25日/「桜・富士山展」開催式・テープカット・レセプションパーティー・内覧会開催
- ▼26日/「桜・富士山展」初日(6/14迄)。七戸町主催による「しちのへ春まつり」オープニングセレモニー開催(2階工房)

- ▼27日/青森県立七戸高等学校森先生「来館、県高校総合学科研究会打合せ
- ▼28日/青森県立七戸養護学校生徒13名様引率教員4名様「来館。十和田市立法奥小学校野坂先生「来館、図工部会連携事業打合せ
- ▼30日/公用車1ヶ月定期点検

## 【5月】

- ▼9日/七彩会油絵教室開催
- ▼12日/「桜・富士山展」入館者5千人目のお客様「来館。Jサポート中里様「来館(HP打合せ)
- ▼13日/JAF残間様「来館(JAFメイト購読者プレゼント)「桜・富士山展」招待券抽選会。八戸市吹上公民館様「来館
- ▼15日/日の出町会様「来館。当財団監査会(H20年度経理)。美術館電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼16日/十和田済誠会病院ライズハウス様「来館。JR東日本主催、駅からハイキング「参加者様「来館
- ▼17日/七戸町商工会女性部主催「七戸つつじまつり観光ツアー」様「来館。弘南観光開発バスツアー様「来館。洋野町団体様「来館。蔵王写生会様「来館
- ▼18日/おいらせ町フォレスト様「来館。七戸町蒼前老人クラブ様「来館
- ▼19日/佐伯、あおもり県民カレッジ連携機関連絡会議に出席(上北地方教育事務所)
- ▼20日/青森放送株「桜・富士山展」を取材
- ▼21日/八戸市美術館名誉館長鈴木継男様「来館。朝日新聞社三沢支局

「桜・富士山展」を取材。佐伯、南部藩交流実行委員会に出席(七戸庁舎)。友の会第4回海外研修旅行「充実の台湾4日間」故宮博物院と美食を楽しむ旅」開催(24日迄)

▼22日/黒石市食生活改善推進員会様「来館

▼23日/二科会青森支部長・高橋美津子様「来館。津軽保健生協板柳支部様「来館。当財団理事会、評議員会開催(H20年度事業報告・収支決算等)

▼24日/七彩会油絵教室開催

▼26日/無言館主・窪島誠一郎様「来館」「無言館展」打合せ、27日迄)



▲この夏開催の無言館展打合せにご来館くださいました窪島誠一郎先生。会期中は2回ご講演いただきます。

## 鷹山宇一記念美術館 ホームページ Open!

待望の当館HPがようやく完成! 「桜・富士山展」でも、多くの方々にご利用いただけましたようです(>\_<) 今後も当館の情報発信に大活躍することと申します。アドレスは↓

[www.takayamamuseum.jp/](http://www.takayamamuseum.jp/)  
友の会のページもありますので、一度覗いてみてください(^\_^)v

## 第4回友の会海外研修旅行

故宮博物院と美食の旅

杭州料理【天香楼】での皆さんの一言

野田治夫さん 食べるのが楽しみで参加。今回は観光に徹します。  
 中野久子さん 故宮博物院が目的で参加。2日目のオプションの時自分達でもう一度故宮博物院に行きゆつくり見てきました。素晴らしかった。  
 長尾貞子さん 楽しい旅行で病みつきになりそうです。  
 奥山俊介さん 台湾は3回目目で1弗360円時代にも来て、水牛の角や香炉を買ったのを思い出しました。  
 小泉孝恒さん 参加できて良かったと思います。ありがとうございます。



第4回海外研修 故宮博物院

小泉久美子さん おなじです。  
 工藤敦子さん 楽しかったです。  
 小向慎さん 天気予報がずっと雨だったので心配しましたが降られずラッキー。

盛田恵津子さん 友の会の理事ですが、海外旅行は4度目の正直で参加できました。娘と一緒に台湾の知人に会えてよかったです。

高田明さん 本当は大勢より一人が好き。「島猫」といって社交性がない。参加している奥山俊介さんの写真を撮るポーズが素晴らしかった。

高田美津子さん 参加できて有難うございます。ガイドの李さんの親切さに感謝。台湾が好きになりました。

濱中桂子さん お花の池坊の全国大会が今台湾で開催されます。そちらをキヤンセルして旅行に参加しました。

杉沢信彦さん 旅行はしょっちゅう行っていて台湾は2回目ですが、印象が変わっていました。

杉沢深雪さん 一緒に参加できてよかったです。

盛田彰子さん 仙台からの参加ですが楽しかったです。

坪廣子さん 友の会は去年から入会。今度定年になるので自分へのご褒美に参加しました。これからも機会を逃さないようにします。

原田恵美子さん 友の会の旅行はフランスと2回目。楽しかったです。

荒谷正裕さん 柏村から参加。観る、飲む、食べる、に大満足。今日の別行動も大満足でした。帰ったら二人でりんごの実すぐり、袋掛けです。

石川みほさん 昨年の南フランスも参加し絵の材料にしています。以前サ

ウジアラビアに3年住んだことがあり台湾の熱風に郷愁を感じました。荒谷みわさん 五所川原からの配車に感謝します。今日は夫と別行動でした。

川村幸子さん 故宮博物院は来て良かった。この旅行は一番先に申し込みました。

三浦一恵さん 参加できて良かったです。

中谷知子さん 友の会の海外旅行の参加は3回目。食べ物に圧倒されました。

奥山雅子さん 何度も旅行社と打ち合わせをし、レストランの献立も昼と夜重ならないように配慮して貰った。美食のツアーとして上手くいったと思う。新型インフルエンザで一時どうなるかと心配したが、無事旅行できて良かった。皆さんのご協力に感謝します。次回も楽しい旅行にいたしましょう。

太田真理子 添乗員 七戸出身なので知っている方もおり、皆さんにご協力いただき有難うございました。

## 平成21年度第一回国内研修旅行記 友の会に乾杯!!

七戸町 照井壽一

鷹山宇一記念美術館が開館した平成六年は、西津軽郡鰯ヶ沢町に単身赴任中だったので会う人ごとに「おらが町の美術館」のお国自慢をしたものだった。以来、特別展を鑑賞するたびに日本を代表する画家の作品を散歩気分で見学鑑賞できることを誇りに思い感謝している。

研修先は青森県立美術館で開催中のウ



鷹山ひばり青森県立美術館館長と記念写真

イーオン美術史美術館所蔵・静物画の秘密。県立美術館ではひばり館長さんが迎えに出て下さり記念写真に納まってくれたことは嬉しい驚きだった。

会場に入り「薔薇色の衣装のマルガリータ女王」の展示室を訪れ肖像画に近づいたり離れたりしながら作品を鑑賞、あどけない子供の愛らしさと王族の品位を私なりに感じることが出来たように思う。肖像画はテレサが三歳の頃の姿だという音声ガイドを聞き、四月に三歳になったばかりの孫娘のことを思った。

午後は山形大学元木教授の講演を聴講したが一枚の絵画からその絵が描かれた時代背景までも読み取りオランダ東インド会社による香辛料の取引にまで発展するなど、見えていたものから見えないうものを読み解いていくという鑑賞方法が私には新鮮だった。晴天に恵まれ楽しく有意義な時を過ごすことが出来ました。一緒に過ごした皆様に感謝いたします。

友の会の発展を祈念して 乾杯

# 国立トレチャコフ美術館展 ” 忘れ得ぬロシア ”



イワン・クラムスコイ《忘れえぬ女》1883年

モスクワの国立トレチャコフ美術館はロシアが世界に誇る世界的美術館のひとつであり、10万点を超えるロシア美術コレクションを有しています。美術館の創立者である実業家のパーヴェル・トレチャコフは、19世紀末から20世紀初めにかけてのロシア各地で活躍した「移動展派」と呼ばれる画家たちの作品を収集し、現在のトレチャコフ美術館の基礎を作りました。(岩手県立美術館HPより引用)

## 《国立トレチャコフ美術館展『忘れえぬロシア』》

好評の友の会研修旅行。平成21年度第2回目の研修旅行です。今回は、岩手県立美術館において「モスクワの国立トレチャコフ美術館展」を鑑賞いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

◆研修先 岩手県立美術館

◆日時 平成21年7月19日(日)

◆募集人員 先着44名

◆参加費 5,000円(バス代・入館料・昼食代含む)

◆申込期限 平成21年7月14日(火)

◆日程

◇午前8時30分

◇午後6時30分

◇日程の詳細は、後日参加者にお知らせいたします。

◆お申し込み・お問い合わせ先

鷹山宇一記念美術館  
電話 0176(62)5858

## 友の会会員登録の更新と新規会員入会をお誘いのお願い

平成21年度も会員の皆様には、友の会運営に多大なお力添えをいただき、誠にありがとうございました。

総会も終わり、新年度事業のスタートになりましたが、皆様には一層のご理解とご協力を賜りたく、特に新規会員の勧誘をお願いいたします。更新手続きがまだの会員の方は、引き続き会員登録の更新をお願い申し上げます。なお、更新手続きは、美術館窓口で随時行っております。

○一般会員

会費(個人) 年度会費3千円

特典 ①無料入館券3枚、会員証提示により入館料2割引

②ミュージアムグッズ1割引 ③研修会、講演会への招待、優待

④他美術館等の視察研修への優待参加

⑤会報の配布

○特別会員

会費(個人・法人) 年度会費1万円

特典 一般会員特典に加えて

①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館

②新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

会費(個人・法人) 年度会費1万円

特典 一般会員特典に加えて

①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館

②新規加入の方に画集1冊贈呈

③特別企画展の都度、招待券を贈呈

④詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

## 七彩会設立10周年記念展について

鷹山宇一記念美術館友の会主催の油絵教室から生まれた油絵同好会「七彩会」の設立10周年記念の展覧会が、七戸町の柏葉館で開催されます。友の会の会員の皆様のご来場をお待ちしております。

会場 七戸町柏葉館 電話 0176(62)6661

期間 平成21年7月10日(金) ～ 7月12日(日)迄 3日間

午前10時から午後5時迄(最終日12日は午後3時迄)

## お知らせ

友の会主催の研修旅行へ参加された方々からいただいた感想文等は順次掲載して参りますのでご期待下さい。

## 第5回海外研修旅行のお知らせ

平成23年春に、オランダへの海外研修旅行を計画中です。会報第56号で詳細を発表し、募集開始の予定です。

## 「ご意見・ご要望」をお寄せ下さい

会員の皆様からの「ご意見・ご要望」をお待ちしております。

☆友の会事業全般について

☆研修旅行についての

☆ご希望とご意見

☆その他

## 編集後記

友の会会報の編集を第55号から担当している照井です。会員相互の親睦を深めるための楽しい会報づくりを目標に取り組んで参りますので会員各位のご協力とご指導を心からお願い申し上げます。